

講演会

「外環トンネル工事による 振動・低周波音被害」を問う

2020年10月に起こった調布での外環トンネル工事による陥没事故では、周辺地域住民の間に、地盤・建物の損壊にとどまらない様々な被害が生じています。

その一つに、騒音・振動・低周波音によってもたらされた健康影響の問題があります。

今年冬にはシールドマシンが私たちの地域に到達すると予想され、「家屋調査」が開始されている今、「トンネル工事による振動・低周波音被害」について考えるために、専門家をお招きして講演会を開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

日にち **9月15日(日) 14時～** (13時半 受付開始)

場所 **上石神井南地域集会所
3階集会室**

〈講師〉 **あきふみ
上田 昌文 さん**
(NPO法人市民科学研究室代表)

参加費 300円

主催 **元関町一丁目町会 外環対策委員会**

携帯090-6123-2689 (森下直美) メール: keyakidayori-sekimati@yahoo.co.jp



〈講師のプロフィールと取組み〉

上田昌文 (うへだ あきふみ) さん

NPO法人市民科学研究室代表。2005～07年、東京大学「科学技術インタープリター養成プログラム」特任教員。2010年～18年に恵泉女学園大学で「市民と環境政策」を担当。

※「市民科学研究室」は、生活と深く関わる科学技術の諸問題を、一般の市民に呼びかけてグループを作って調査し、問題にあたる。東京外環道トンネル工事に伴う陥没事故を機に、外環道沿線住民ら20人と共同で「外環振動・低周波音調査会」を立ち上げる。

今回の講演会は、調査会メンバーのご協力のもとに行われます。

